



平成 19 年 1 月 12 日

各 位

会 社 名 暁 飯 島 工 業 株 式 会 社
代 表 者 の 役 職 名 取 締 役 社 長 飯 島 康 輔
(J A S D A Q ・ コ ー ド 1 9 9 7)
問 い 合 わ せ 先 常 務 取 締 役 管 理 統 括 部 長
役 職 ・ 氏 名 藤 沼 一 男
電 話 番 号 0 2 9 (2 4 4) 5 1 1 1

平成 19 年 8 月 期 業 績 予 想 及 び 期 末 配 当 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

平成 18 年 12 月 20 日 付「訴訟の判決及び特別損失の発生並びにそれに伴う業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました、平成 19 年 8 月 期 (平成 18 年 9 月 1 日 ~ 平成 19 年 8 月 31 日) の業績予想並びに平成 18 年 10 月 13 日 付 当 社「平成 18 年 8 月 期 個 別 財 務 諸 表 の 概 要」にて発表いたしました、期末配当予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 中間期 (平成 18 年 9 月 1 日 ~ 平成 19 年 2 月 28 日) (単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 予 想 (A)	4,800	30	15
今 回 予 想 (B)	4,800	150	200
増 減 額 (B - A)		180	185
増 減 率 (%)	2.1		
前中間期(平成 18 年 2 月 中 間 期)実 績	4,339	68	208

(2) 通 期 (平成 18 年 9 月 1 日 ~ 平成 19 年 8 月 31 日) (単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想 (A)	10,100	120	65
今 回 予 想 (B)	9,300	125	175
増 減 額 (B - A)	800	245	240
増 減 率 (%)	7.9		
前期(平成 18 年 8 月 期)実 績	10,800	139	185

2. 単独業績予想の修正

(1) 中間期 (平成 18 年 9 月 1 日 ~ 平成 19 年 2 月 28 日) (単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 予 想 (A)	4,800	30	15
今 回 予 想 (B)	4,800	150	200
増 減 額 (B - A)		180	185
増 減 率 (%)	2.1		
前中間期(平成 18 年 2 月 中 間 期)実 績	4,321	58	202

(2) 通 期 (平成 18 年 9 月 1 日 ~ 平成 19 年 8 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益	1 株当たり期末配当金
前 回 予 想 (A)	10,000	110	55	2 円 0 0 銭
今 回 予 想 (B)	9,200	130	180	0 円 0 0 銭
増 減 額 (B - A)	800	240	235	2 円 0 0 銭
増 減 率 (%)	8.0			
前期(平成 18 年 8 月期)実績	10,778	129	182	0 円 0 0 銭

3. 修正の理由

(1) 連結業績

主に単独業績予想修正に伴う修正であります。

(2) 単独業績

売上高につきましては、受注高の減少に伴い当初計画を若干下回る見込みであります。損益面におきましても、最近の低価格競争の激化で受注利益が率・額共に低下していることに加え、前連結会計年度から繰越された高層ビルの防災関連工事などの不採算工事が完成となり売上計上されることが主な原因であります。

第 2 四半期以降、取締役数の削減及び役員報酬の減額等の固定費削減をはじめ、不採算支店の縮小など全社を挙げて徹底した合理化策を推進し、業績の回復に努めてまいり所存であります。

以上のことを鑑み、誠に遺憾ではあります。今期末の復配(1 株当たり期末配当金 2 円)を予定しておりましたが、その実施を見送らせて頂く予定であります。

以上